

十二月二十四日 月曜日 晴

今日映画会であるが、もう明日からは冬休みである。冬休みといってもたいしたことはない。たった二週間であるが、たのしい正月ももうまじか。来年ももう目の前です。

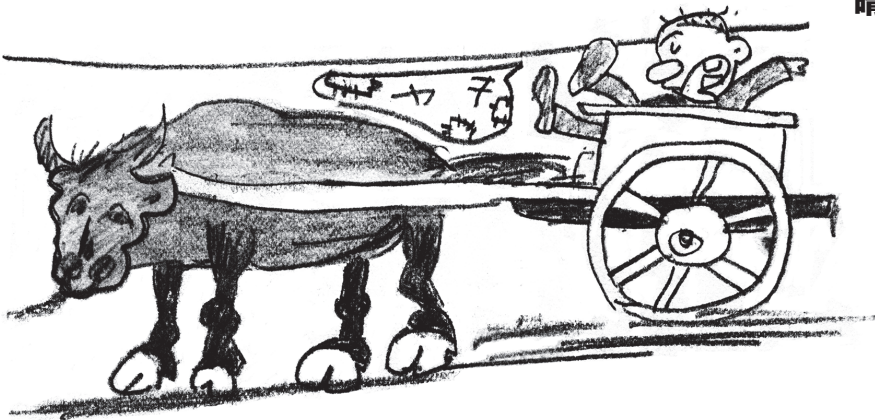
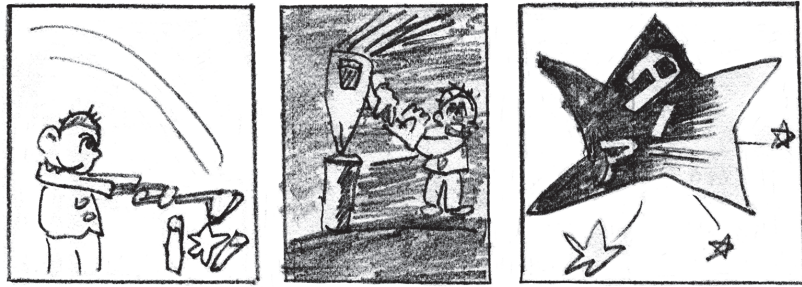
映画も、早く見たいと思ったが、今日は中止といわれてがっかりした。つうしんぼをもらって帰ろうとしたら、みんなが写真をもっていたので見たら、この前の校内駅伝で勝って写した時のでした。その写真



を見て買ったかった。もう休みなので、買うのもしょうがなかった。写真を写してもらうのは、ぼくはきらいではなかった。家へ帰ってきて、ごはんをたべて、ひるねをした。いつのまにか、ねむたくなってねてしまったので、おきたら四時半です。早く牛にえさをかせた（食わせた）。



十二月二十六日 水曜日 晴



今日は、家の人がまきが大きすぎてしょうがないといったので、ぼくはまきわりをしました。あせがポタポタと出た。そしてひぐれに山へくずとりに行った。山道なのでガタ／＼道です。そして帰ってきてみたら、もううす暗くなった。そしてくずをかたしたらもう真暗だった。夜、あんまり長湯だったので、あたまがボーとしてうすきもちがわるかった。

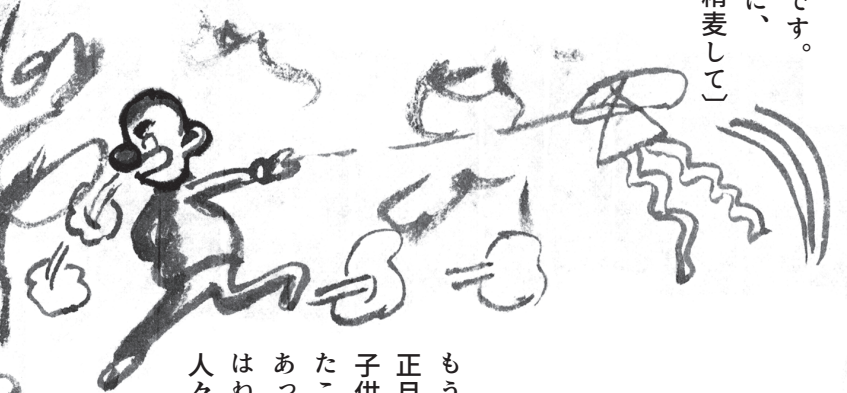


今日はひじょうに寒いです。  
 しものところけないうちに、  
 じむしょへ麦つけて「精麦して」  
 あるかきぎにいった。

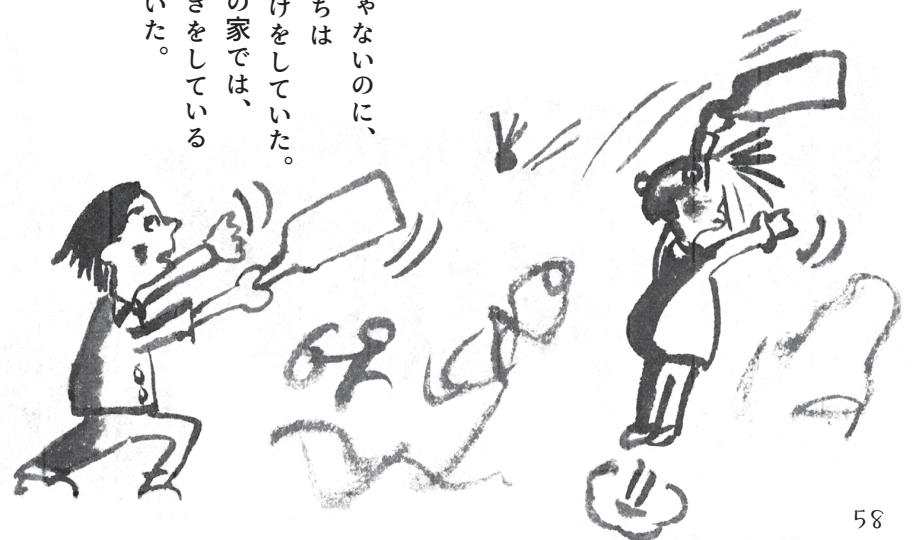


出来ていたので  
 自転車の荷つみへらせて、  
 家へ帰ってきた。

おとろし



もう  
 正月じゃないのに、  
 子供たちは  
 たこあげをしていた。  
 あっちの家では、  
 はねつきをしている  
 人々もいた。



今日はひじょうに暖かいので  
 めくとかいた。晴れた空に  
 雲もななかなたあつた。あんな  
 まりふっとんであそんだ  
 せいか今日はあかたかった。か  
 た。庭のすみこで、ひやまを  
 もしてあたる。もすのは、このあ  
 りだ。こいた。う。あせいの末であ  
 り。あたりながらう。う。かせを  
 やいてた。あ。あ。あ。あ。あ。あ。  
 げた。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。  
 ジューと音がした。まを  
 やけどしてしまつた。あ。あ。あ。  
 仕事するもかないのであ

そんでしつた。



夜寝る  
 ときも  
 ずかし

「野菜の消毒②」

7月1日 月曜日 曇時々雨

\*消毒作業の前に、噴霧器の圧力をかけるためにポンプを60回押しした。



「60回」  
「こんどは、すいかだ」  
「つらいよなかなか」  
「また雨だ いやあ」  
石油 ガソリン オイル 四角

「野菜の消毒①」

6月25日 火曜日 晴のち曇



今日の午前は消毒した 「一本だてにしたから、二本のよりのびが早いよ」  
「これで消毒も終わった」 「六軒へいくんだ」 「粉屋もずいぶんきれいになったなあ」  
「おれと同級のやつが帰っていくぞ」 しんのづかの野郎にいきあった 「オス」

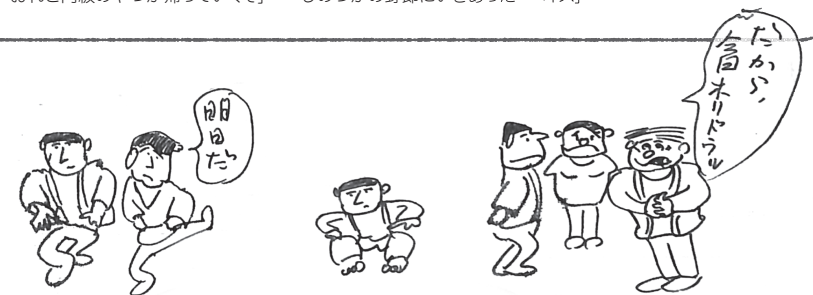
「発動機の故障」

7月2日 火曜日 晴

\*当時は発動機にかけたベルトで精米機を回転させていた。この日は発動機のエンジンがかからず難儀した。



「今日は、いい天気だ」 「うわあまっくらだあ」 米つき(精米)に行った 「かからないなあ」





「今日は、おしゃれをして」 「コンニチワ」「アリアだれだろ」  
 「おてらのおばさんか」「コンニチワ」 西瓜の十周年記念である 「であるのである」  
 かたいこわめし(赤飯)だな 「では、みなさんカンバイ」  
 木下へ映画見に行った 夜、学校にも見に行った



毎日天気が続くので、仕事に思うように行くな  
 今日は昼からヨサンコ(町内会の寄合)だ



「アリアリヤノアリア」  
 「アノ牛のつの、真赤で  
 小さくなってぞ」「ナンジャト」

「じゅう医へいってこい」「オクケ」くすりつけて五百円とられた  
 「食ってもうまくねえナ コリヤショックだ」 ひる食べて稲はこんだ 今日カックンときちゃったのである